

# 日赤ニュース

No. 49  
2013年

発行日：平成25年1月  
発行責任者：河井繁  
編集・発行：伊勢赤十字病院 広報委員会  
伊勢市船江1丁目471番2  
☎ 0596-28-2171(代表)  
<http://www.ise.jrc.or.jp>

## 理念

人道に基づき赤十字病院として  
質の高い医療を提供します

## 基本方針

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救援や国際救援に貢献します
8. 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します



## 2013年 年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとう御座います。昨年、新病院への移転を機に、一世紀超の歴史を誇った山田赤十字病院から伊勢赤十字病院へ名称変更を致しました。同時に電子カルテの導入も行いましたので、不慣れなため手間取り何かと御迷惑をお掛け致しましたこと改めてお詫び申し上げます。皆様の御協力のお蔭で順調に推移しています。有難う御座いました。

当院は国の方針に則り他の地域医療機関との役割分担において、主として救急医療と急性期入院医療を担当していますが、この様な機能を果たすことが出来る病院が少なくなつて来ていることから、カバーしなければならない地域が次第に広域となりつつあります。このため新入院患者数は増加傾向にあり昨年は年間1万7千名に達しました。新病院は旧病院に比し実質稼動病床が約80床増えましたのでこれまでのところ全て収容できていますが、今後の増加分に対しては平均在院日数を短縮して対応して行かなければなりませんので、皆様の御理解、御協力を宜しく御願い申し上げます。因みに平均在院日数を一日短縮することにより一ヶ月当たりの新入院患者さんを約150名多く受け入れることが出来る事となります。

院長 村林紘二

厚労省は昨年、大学病院本院(I群)に準じる機能を果たしている病院として、全国で僅か90病院だけをII群病院と指定しましたが、三重県では当院と四日市市民病院の二病院のみです。非常に光栄なことであると共に改めて責任の重大さを感じています。この期待にお応えできるよう今後も職員一同頑張って参りますので宜しく御願い申し上げます。

ドクターへりが導入されてから間もなく一年になり運航回数が徐々に増加して参りました。救急車での搬送も増加傾向で御座います。何れも積極的に受け入れていくこととしていますので、周辺住民の方々には騒音等で御迷惑をお掛け致しますがご寛容の程御願い申し上げます。

日本各地の病院で医師、看護師不足が生じています。当院は新病院建設に当たり「職員が誇りを持って働くことが出来る病院」をモットーとしてきました。更に今後も医療従事者の確保に向けての取り組みを精力的に続けて参りますが、医療従事者に選ばれる病院作りには患者さん及びそのご家族の方たちの御協力が不可欠ですので、御理解のほど御願い申し上げます。

写真：2013年元旦 大淀海岸の日の出(撮影 小林美香子)

# 入院患者満足度調査

患者サービス向上委員会

平成24年10月1日～31日の1ヶ月間、新病院になって初めての入院患者満足度調査を実施しました。対象者は594名中、男性49%、女性51%でした。入院期間は、1週間未満が55%を占めています(図1)。

## 【アンケート結果】

### ①接遇について(図2)

「言葉遣いや態度」「身だしなみ」「質問相談のしやすさ」について、それぞれ「非常に満足」「満足」と回答された方はどの項目も90%以上で、昨年(移転前)と大きな差はありませんでした。

### ②説明について(図3)

ほとんどの項目で80%以上の方が「非常に満足」「満足」と回答されています。「退院後の説明」についてはやや低く78.1%という結果になりました。「退院後の説明」は以前からの課題もありますので、これからも皆様に満足していただけるように努力していきたいと思います。

### ③施設・環境について(図4)

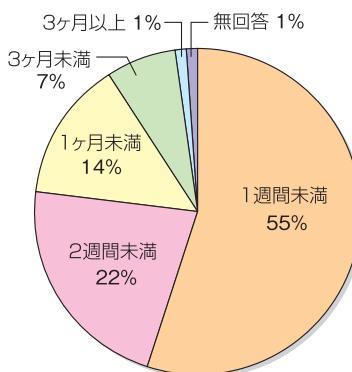
ほとんどの項目において「非常に満足」「満足」と合わせると80%以上でしたが、「病院内の案内図」69.9%、「病室内的騒音」75.9%とやや低い結果でした。

また、お気づきの点では、「職員の皆様に親切にしていただき、本当にありがとうございました。」や「患者とお見舞いの人と部屋以外で会える場所があり良かった。」という意見をいただきました。

患者サービス向上委員会では、患者さんに安心して治療・看護を受けていただける環境づくりを目指して活動しています。

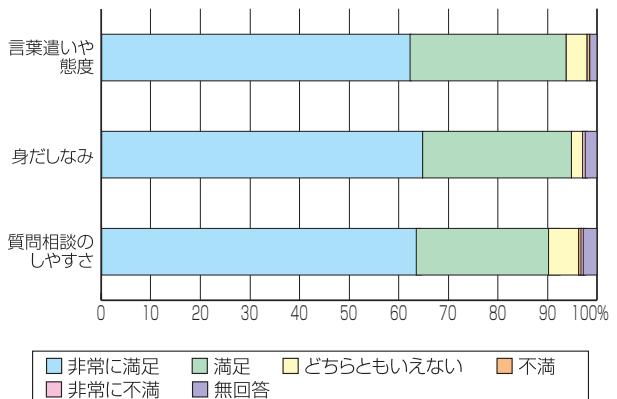
調査にご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

## 入院期間



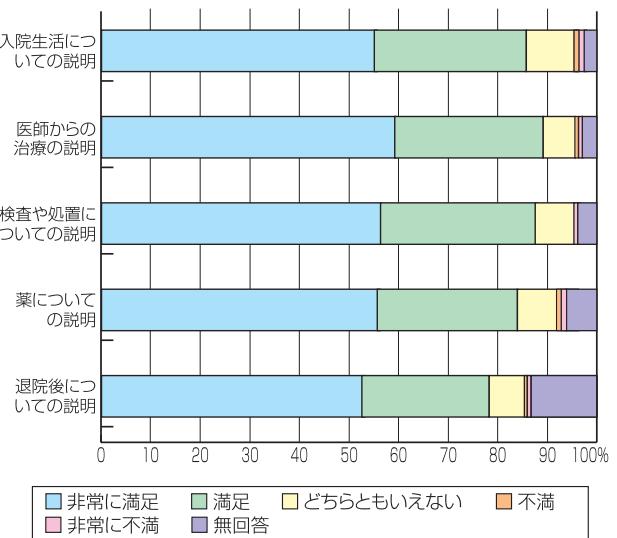
(図1 入院期間)

## 接遇



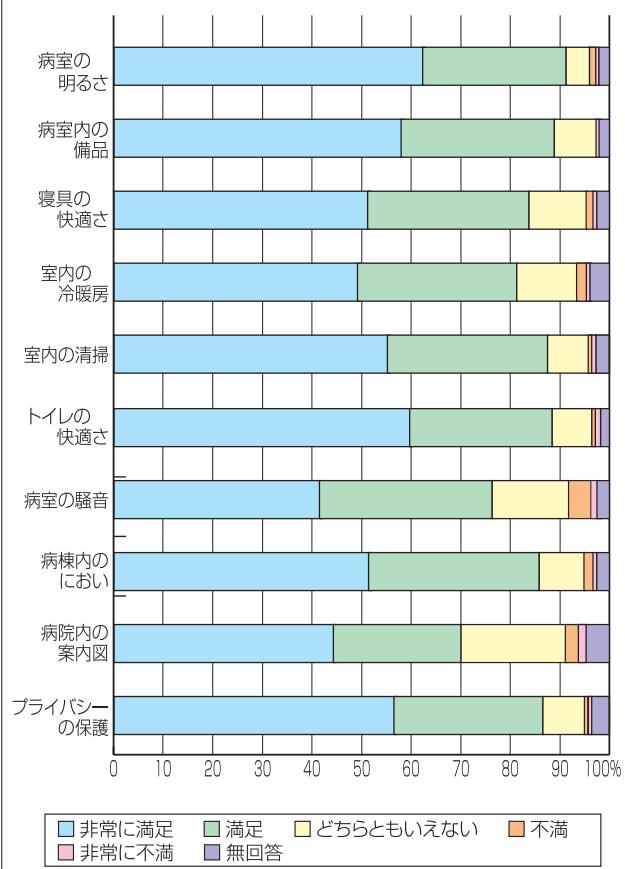
(図2 接遇について)

## 説明



(図3 説明について)

## 施設・環境



(図4 施設・環境について)

# 外来患者待ち時間調査と満足度調査

患者サービス向上委員会

平成24年10月15日～19日までの5日間、外来初診紹介患者さんを対象に「外来患者待ち時間調査」を実施しました。

調査内容、調査方法は昨年と同様で、対象者144名の患者さんにご協力いただきました。

初診紹介患者受付に受付をしてから、診察後の会計終了までの在院時間は、平均3時間21分でした(図5)。

「カルテ作成時間」や「外来待ち時間」、「放射線部門」、「検査部門」、「外来処置部門」とともに旧病院での待ち時間とほぼ同じ、もしくは短縮されています(図6・7・8)。

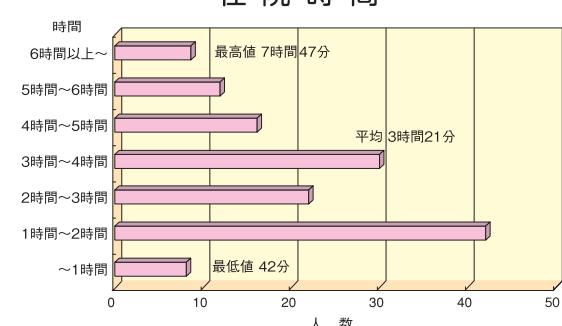
また、「その他お気づきの点」では、「いすを増やしてほしい」、「食堂があれば良い」などの意見がありました。

満足度については、全体として69%の方から「満足・やや満足」との回答をいただきました(図9)。

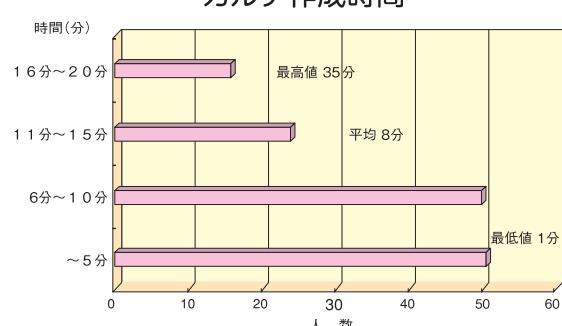
患者サービス向上委員会では、この調査の結果を謙虚に受け止め、今以上患者さんに満足していただけるよう、よりよい医療の提供に努力していきたいと思います。

調査にご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

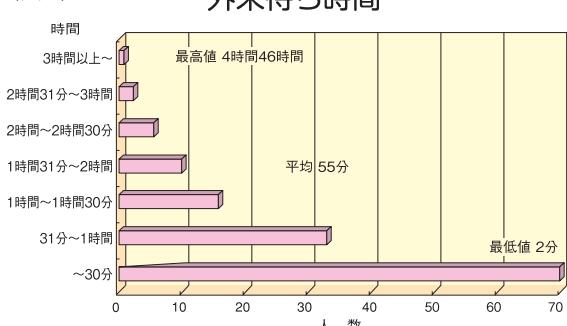
(図5) 在院時間



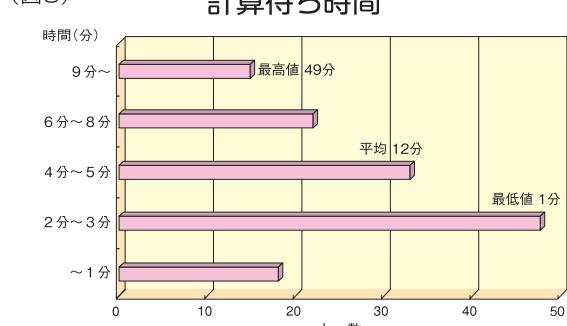
(図6) カルテ作成時間



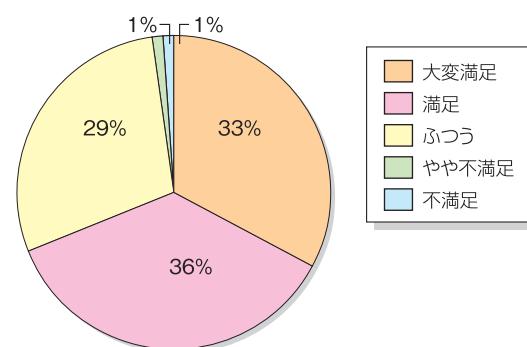
(図7) 外来待ち時間



(図8) 計算待ち時間



(図9) 外来満足度



## “二胡の調べ”に癒しのひとときを

12月24日(月・祝)伊勢赤十字病院やまだホールで初めてのクリスマスコンサートを開催しました。

○三重県を代表する二胡奏者 剣山啓助＆ジャスミンの皆様をお迎えし、二胡の奏でる哀愁を帯びた独特の音色を楽しみました。二胡は中国の伝統的な民族楽器の一つで、アジアのヴァイオリンと呼ばれています。聞きなじみのある「蘇州夜曲」「夜來香」のほか、クリスマスにちなみ「The Christmas Song」、志摩地域の自然をイメージしたオリジナルの楽曲等、やまだホールには美しい自然や中国の風景の映像とともに二胡の音色が響きました。

○やまだホールの扉には赤いクリスマスリース。舞台横にはほんのりと光を灯すツリー。二胡の優しい音色。患者さんにとっても、病院スタッフにとっても癒しの時間になればうれしく思います。



## 教室のご案内

平成24年度より教室を受けられた場合、健康保険適用となりますので初・再診料・集団指導料の一部負担金をお支払い頂くことになります。ご了承下さいます様お願いします。(試食のある場合は別途材料費をいただきます)

伊勢赤十字病院 栄養課

### 教室参加のながれ

- ①外来または入院病棟で予約を入れて下さい。
- ②参加当日は直接、教室開催会場に入って下さい。
- ③診察券を教室の受付に渡して下さい。
- ④教室終了後、自動支払機にて清算をして下さい。

\*必ず診察券をご持参下さい。

### 肝臓病教室

#### 【日 時】

2月18日(月)	13:30～15:30	C型肝炎の診断と治療
5月20日(月)	13:30～15:30	慢性肝炎の診断と治療
9月7日(土)	10:00～14:00	C型肝炎の診断と治療 (日常生活と肝臓病食について) (食事あり)
11月18日(月)	13:30～15:30	肝硬変の合併症と治療

#### 【場 所】

伊勢赤十字病院 5階 会議室7

#### 【参加費】

9月のみ食事代として500円が別途かかります。

#### 【お問い合わせ・お申し込み】

伊勢赤十字病院 肝臓内科  
外来 3番受付

### 糖尿病教室

#### 【日 時】

3月15日(金)	9:00～13:00
4月19日(金)	9:00～13:00
5月10日(金)	9:00～13:00
6月14日(金)	9:00～13:00
7月12日(金)	9:00～13:00

#### 【場 所】

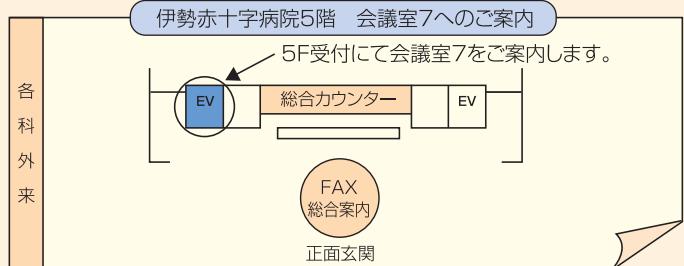
伊勢赤十字病院 5階 会議室7

#### 【参加費】

500円(昼食あり)

#### 【お問い合わせ・お申し込み】

伊勢赤十字病院 糖尿病代謝内科  
外来 3番受付



## 新病院で初めての大規模災害訓練を実施

救急部長・災害防災委員会 委員長 説田守道

2012年12月8日(土)、伊勢赤十字病院で東海地震を想定した大規模災害訓練が行われました。病院で働く全ての職種の人々が災害時に自分がすべきことを理解し、実践するための訓練です。駐車場の一角には模擬倒壊家屋、火災現場が設置され、伊勢市消防署の指揮隊、救助隊等と共に要救助者(被災者)を救出し、現場で可能な応急処置を行う訓練を行いました。病院正面玄関前ではゲートコントロールが行われ、重症度、緊急性に合わせて可能な限り多数の被災された方々に適切な医療を提供できるようにトリアージが行われました。病院内では重症度にあわせた治療エリアが設置され、総勢100名に及ぶ模擬傷病者の治療にあたりました。また病院災害対策本部では、病院機能を維持しながら県の災害対策本部等と情報を共有し、支援の受け入れやより多くの被災者に医療を提供するためにどう行動すべきかの訓練が行われました。

土曜日の朝から何やら騒がしいと思われた方もいらっしゃる



家屋倒壊現場から救出



エントランスホールは赤(重症)エリアに



情報収集・状況把握に追われる災害対策本部

でしょう。しかしこれらの訓練が無ければ、現実の災害に対応することはできません。『本物』に近い訓練が必要だということを是非ご理解いただきたいと思います。

大規模災害訓練は、被災され健康を害した人々に可能な限り医療を提供するための訓練です。しかし多数の被災者が発生した場合には、被災者全員に同時に医療を提供することは出来ません。緊急性や重症度によって『治療の順番』が決められます。また病院は避難所ではありませんので、避難生活に必要な物品は配給されません。さらに大津波が発生すれば、当院周辺まで浸水するおそれがあります。病気やケガのない人、軽症で歩行可能な人は躊躇せず可能な限り標高の高い場所にある避難所に向ってください(※避難所については伊勢市のサイトで御覧になれます)。多くの人が災害時に適切な行動をとることによって、より多くの人が助かることにつながります。平時にこのような訓練を行なうことの意義をご理解いただければ幸いです。